

# 春日井市からの障がい者の社会参加に関する アンケート調査のお願い

日頃は、本市の福祉行政につきまして、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

このアンケートは、春日井市障がい者総合福祉計画の改定にあたり、各種施策の参考とするために皆さまのご意見をお伺いするものです。

ご多忙のこととは存じますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年●月

春日井市長 伊 藤 太

## 記入上の注意

- 1 黒の鉛筆またはボールペンでご記入ください。
- 2 記入が終わりましたら●月●日（●）までに同封の返信用封筒にてご返送ください。
- 3 ご回答いただいた内容は、個人が特定できないよう全て数字として扱い、統計的に処理させていただきます。

〔問い合わせ先〕 春日井市 健康福祉部 障がい福祉課

電話：0568-85-6186（直通） F A X：0568-84-5764

## あなた自身についてお聞きます

問1 あなたの性別について、どちらかに○をつけてください。

1. 男

2. 女

問2 あなたの年齢を記入してください。（平成 25 年 11 月 1 日現在）

満 \_\_\_\_\_ 歳

問3 あなたのご職業は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 自営業・経営者

2. 勤め人

3. 主婦（夫）

4. 学生

5. 無職

6. その他（ ）

問4 これまで、あなたの身近に障がいのある人がいたことはありましたか。また、それはどのような場面でしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 自分自身又は家族等身近な親族 | 2. 学校            |
| 3. 自分の職場          | 4. 仕事関係（自分の職場以外） |
| 5. 隣近所            | 6. 趣味等の活動        |
| 7. その他            | 8. 身近にいたことはない    |
| 9. わからない          |                  |

問5 あなたは、これまでに学校の授業などで障がいについて学んだり障がいのある人に接する機会がありましたか。どちらかに○をつけてください。

1. あった                      2. なかった                      3. 覚えていない

問6 あなたは、次の障がいについて、その特性や支援が必要なことについて理解していると思いますか。それぞれ、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※あわせて別紙の解説もごらんください。

	よく理解している	いたいたい理解して	あまりよく分から	わからない	さうとうたを障がいなが
①視覚障がい	1	2	3	4	5
②聴覚・平衡機能障がい	1	2	3	4	5
③音声・言語・そしゃく機能障がい	1	2	3	4	5
④肢体不自由	1	2	3	4	5
⑤内部障がい（心臓、腎臓、呼吸器、膀胱・直腸、小腸、肝臓の機能障害や免疫機能障害）	1	2	3	4	5
⑥知的障がい	1	2	3	4	5
⑦精神障がい	1	2	3	4	5
⑧発達障がい	1	2	3	4	5

共生社会についてお聞きます

問7 「共生社会」とは、障がいの有無等にかかわらず、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う社会のことです。あなたは、この「共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。また、このような社会のあり方についてどのように考えますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 聞いたことがあり、賛同できる
2. 聞いたことはあるが、賛同できない
3. 聞いたことはないが、賛同できる
4. 聞いたことはなく、賛同できない
5. わからない

問8 あなたは、障がいのある人と気軽に話したり、障がいのある人の手助けをしたことがありましたか。どちらかに○をつけてください。

1. ある                      2. ない → [問 11 へ](#)

問9 問8で「1. ある」と答えた方にお聞きします。それはどのような気持ちからですか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 身内などに障がいのある人がいて、その大変さを知っているから
2. 近所付き合いや親戚付き合いなどで
3. 困っているときはお互い様という気持ちから
4. 自分の仕事で関わりがあるから
5. 将来、自分も障がいをもつ可能性があるから
6. 何となく
7. その他（ ）
8. わからない

問 10 問 8 で「2. ない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. たまたま機会がなかったから
2. 自分が何をすればよいかわからなかったから
3. どのように接したらよいかわからなかったから
4. お節介になるような気がしたから
5. 専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから
6. 自分にとって負担になるような気がしたから
7. その他（）
8. 特に理由はない
9. わからない



問 11 平成 25 年 4 月 1 日から企業における障がいのある人の法定雇用率※が上がったことについて知っていますか。どちらかに○をつけてください。

※ 一定規模以上の企業の事業主に対して、その雇用する労働者に占める身体障がい者・知的障がい者の割合が一定率（法定雇用率）以上になるよう義務づけられています。

1. 知っている
2. 知らない

問 12 あなたは、世の中には障がいのある人に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。あてはまるものに 1 つだけ○をつけてください。

1. あると思う
2. 少しはあると思う
3. ないと思う
4. わからない

問 13 あなたは、5 年前と比べて障がいのある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。あてはまるものに 1 つだけ○をつけてください。

1. かなり改善されている
2. 少しずつ改善されている
3. あまり改善されていない
4. 改善されていない
5. どちらともいえない
6. わからない

問14 障がいのある人とない人が同じように生活するためには、生活するための不便さを取り除く、(例えば商店に入り口などにスロープの整備や点字ブロックや音声案内の設置など) いろいろな配慮や工夫が必要になることがあります。

あなたは、こうした配慮や工夫を行わないことが「障がいを理由とする差別」に当たると思えますか。あなたの考えに一番近いものに1つだけ○をつけてください。

1. 差別に当たる場合があると思う
2. どちらかといえば差別に当たる場合があると思う
3. どちらかといえば差別に当たる場合があるとは思わない
4. 差別に当たる場合があるとは思わない
5. わからない

問 15 あなたが、もし障がいを持つことになったとしたら、春日井市で安心して暮らしていけると思えますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 安心して暮らしていけると思う
2. 暮らしづらいと思う
3. わからない

問 16 障がいのある人とない人が同じように生活するためには、生活するための不便さを取り除く、(例えば商店に入り口などにスロープの整備や点字ブロックや音声案内の設置など) いろいろな配慮や工夫を行うことをあなたが求められた場合、経済的な負担を伴うことがあります。あなたはどうしますか。あなたの考えに一番近いものに1つだけ○をつけてください。

1. 負担の程度にかかわらず、配慮や工夫を行う
2. 可能な範囲の負担であれば、配慮や工夫を行う
3. 負担がなければ、配慮や工夫を行う
4. 配慮や工夫を行うことは難しい
5. 一概にはいえない
6. わからない

障がい者の人権や理解についてお聞きます

問 17 障がい（疾病）がある人が生活の場面で不適切な対応をされたり、いやな思いをしているのを見たことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. よくある                      2. ときどきある  
3. あまりない                  4. まったくない

問 18 あなたは、障がいのある人への理解を深めるために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

1. 学校における児童、生徒の障がいへの理解を促す教育
2. 障がいの有無に関わらず参加できる行事・イベントの開催
3. ボランティア活動の促進
4. 障がい理解のための広報・啓発活動
5. 障がい者の地域生活への移行
6. その他（ ）
7. 特になし

問 19 成年後見制度について、知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ 成年後見制度とは、判断能力が不十分な人が契約等の法律行為ができるよう、家庭裁判所が判断能力の程度に応じて補助人、保佐人、成年後見人を選任する民法上の制度です。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるがよくわからない
3. 知らない、聞いたことがない

問 20 国連の障害者権利条約について、日本が批准する見通しであることを知っていますか。どちらかに○をつけてください。

※ 障害者権利条約は、国際人権法に基く、あらゆる障がいのある人の尊厳と権利を保障するための人権条約であり、2006 年の第 61 回国連総会において採択されています。この条約に批准すると、国内法が条約に反してはならない義務をもつことになります。

1. 知っている                      2. 知らない

## 障がい者施策についてお聞きします

問 21 5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの障がい者施策は進んだと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけ、どのような点でそう思うのか記入してください。

- |                 |   |   |
|-----------------|---|---|
| 1. かなり進んだと思う    | ( | ) |
| 2. 少し進んだと思う     | ( | ) |
| 3. あまり進んだと思わない  | ( | ) |
| 4. ほとんど進んだと思わない | ( | ) |
| 5. どちらともいえない    | ( | ) |
| 6. わからない        |   |   |

問 22 あなたが身近な情報を得ている手段は何ですか。主なものに3つまで○をつけてください。

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1. テレビ             | 2. ラジオ        |
| 3. 新聞・雑誌           | 4. 市の広報誌等     |
| 5. 自治会の回覧板         | 6. 公共施設などの掲示物 |
| 7. 近隣住民や知人から直接聞く   | 8. インターネット    |
| 9. SNSなどのソーシャルメディア |               |
| 10. その他 (          | )             |
| 11. 特にない           |               |

問 23 あなたが今後、特に充実すべきだと考える障がい者の施策について、あてはまるものに5つまで○をつけてください。

1. 相談支援の相談員やヘルパー、施設の支援員など、障がいのある人の日常生活を支援する人の数や場所を増やすこと
2. 相談支援やヘルパー事業所の支援員など、障がいのある人の日常生活を支援する人の支援や施設の設備の質を高めること
3. 障がいのある人が身近な病院や診療所で検診や検査を受けることができるようにすること
4. 障がいのある人が負担する医療費を減らすこと
5. 可能な限り障がいのある児童・生徒が障がいのない児童と共に学ぶことができるようにすること
6. 障がいのある人が気軽に文化芸術・スポーツ・レクリエーションを行うことができるようにすること
7. 障がいのある人がその適性に応じて能力を十分に発揮することができるよう就労を支援すること
8. 作業所などに通所する人の工賃の水準を向上させること
9. 障がいのある人のための住宅を確保すること
10. 公共施設、駅、デパートなどをバリアフリー化すること
11. 障がいのある人が容易に素早く情報を得ることができるようにすること
12. 手話通訳者を養成すること
13. 障がいのある人が災害時の避難で困らないような体制をつくること
14. 障がいのある人に対する差別をなくすこと
15. 障がいのある人に対する虐待を防ぐこと

問24 その他、本市の障がい福祉についてのご意見や将来への不安、福祉サービスの利用に関する不満やご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

---

---

---

---

ご協力ありがとうございました。